

第2次 瀬戸市食育推進計画

推進計画を策定しました

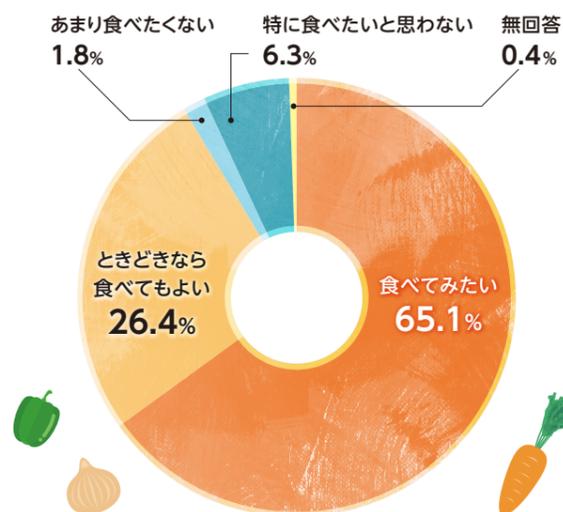
食育とは 「さまざまな経験を通じて“食”に関する知識と“食”を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる」と位置付けられています。

市では 平成22年度に食育に関する基本事項を定めた総合的な行動指針として「第1次瀬戸市食育推進計画」を策定し、食育を推進してきました。食育をさらに推進するため、平成29年度から平成33年度までの5年間を期間として「第2次瀬戸市食育推進計画」を策定しました。

平成28年度に、市内の保育園児の保護者および小学5年生・中学2年生とその保護者に対して、食育に関するアンケート調査を行いました。

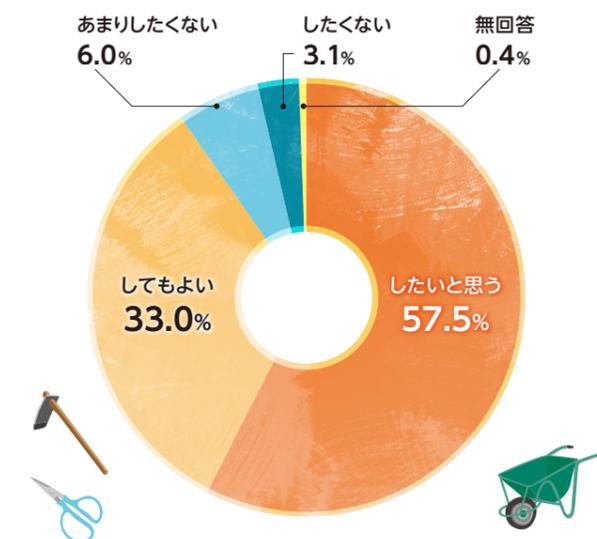
「瀬戸市産の農産物」への関心度はどれくらい？

瀬戸市産の農産物を家庭や学校給食で「食べてみたい」と答えた人は65.1%、「ときどきなら食べてもよい」と答えた人は26.4%で、これらを合わせると91.5%の人が家庭や学校給食で食べてみたいと思っています。



「農業体験」に対する意欲はどれくらい？

「したいと思う」と答えた人は57.5%、「してもよい」と答えた人は33.0%で、これらを合わせると90.5%の人が農業体験に関心・意欲があります。



「第2次瀬戸市食育推進計画」では、食育の「意識啓発の段階」から「実践の段階」へとステップアップさせることが期待されます。そのためには、これら関心や意欲の高い取り組みと連携させ、食育への行動・実践へと働きかけることが、効果的であるとしています。

保育園での新たな食育推進

食育のシンボルツリーとして、公立各園に「きんかんの木」を植えました。また、保育士による食育エプロンシアターでは楽しく健康的な食習慣を学んでいます。その他、園庭で収穫した野菜を使ってクッキング保育を行うなど、日常保育の中にさまざまな食体験を取り入れ、「食を営む力」の土台を培っていきます。

早ね早おき
朝ごはん



食育エプロンシアター

大きくな～れ



「きんかんの木」の植栽

小中学校での新たな食育推進

水野中学校では、平成29年度文部科学省委託事業「つながる食育推進事業」を受託し、学校において実施する食育に関する取り組みに保護者にも積極的に参加していただくことを計画しています。また、家庭における食育の推進にも派生させる事業展開を目指しています。さらに、水野地区の小学校とも連携し、小中9年間を見通した食育も推進していく予定です。



地消地産(ちしょうちさん)の取組

地産地消は、「地域でとれたものを地域で食べよう」という取り組みであるのに対して、**地消地産は視点を変えて、「地域(瀬戸)で食べるものを地域(瀬戸)で作ろう」という取り組みです。**今回、学校や保育園の給食へ提供することを目的に、市内農家の皆さん(JAあいち尾東瀬戸産直友の会、道の駅瀬戸しなの農産物生産者の会)が昨年11月から丹精込めて玉ねぎを栽培し、収穫しました。6月中旬から7月下旬まで市内の小中学校、保育園の給食で瀬戸市産の玉ねぎが使用されました。また、この取り組みに合わせて、地域の「農」や「食」と触れ合い、愛着を深めるために、市内の小学4年生が収穫体験を行い、生産者の皆さんと会食会を開催しました。



保育園の子どもたちは、瀬戸市産玉ねぎの出荷の様子を見学しました。



瀬戸の農産物 収穫体験ツアー

瀬戸で栽培されている農産物を収穫します。実際に実っている農産物を見て、触れて、味わっていただく絶好の機会です。ぜひご参加ください。

日時 8月17日(木) 1部:午前9時～ 2部:午後2時～ **予備日**:8月26日(土) ※少雨決行
場所 三国農場(市役所集合、マイクロバスで移動します)
収穫野菜 とうもろこし、シイタケ(場合によってはナス) ※採った野菜はお持ち帰りできます。
対象 小学生と保護者 **参加費** 1人500円 **定員** 各部10組(申込多数の場合は抽選)
申込方法 電話・Eメールで①小学生・保護者の氏名②住所③電話番号を記入し、お申し込みください。
Eメール agri@city.seto.lg.jp
締切 8月8日(火)午後5時 ※抽選結果は8月14日(月)までに発送します。

